

8 リテラシー教育の実績

8.1 リテラシー教育の実施

(1) 図書館活用法※1 *半期2単位（駿河台：前期，生田：後期，中野：後期，和泉：2006年より前期・後期 に開講）

		2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
中央図書館	履修者数	116	107	43	57	50	73	67	36	66
	開講数	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	授業回数 ※2	14 (11)	14 (11)	14 (10)	12 (9)	14 (10)	15(11)	15(13)	15(11)	15(11)
	担当講師数 ※3	14 (12)	14 (11)	13 (10)	13 (11)	13 (9)	14(10)	14(10)	15(12)	13(11)
和泉図書館	履修者数	252	302	262	231	253	244	240	315	331
	開講数	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	授業回数 ※2	56 (44)	56 (44)	56 (40)	52 (38)	56 (40)	60(44)	58(42)	56(40)	58(46)
	担当講師数 ※3	21 (17)	22 (18)	25 (22)	27 (23)	24 (22)	24(22)	29(27)	27(25)	27(25)
生田図書館	履修者数	60	56	42	30	36	26	36	29	27
	開講数	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	授業回数 ※2	14 (10)	14 (10)	13 (9)	14 (10)	14 (10)	15(10)	15(10)	15(10)	14(9)
	担当講師数 ※3	10 (6)	10 (6)	9 (6)	10 (7)	9 (6)	9(6)	10(6)	9(6)	10(6)
中野図書館	履修者数						11	10	16	32
	開講数						1	1	1	1
	授業回数 ※2						15 (10)	15(10)	14(10)	15(10)
	担当講師数 ※3						8 (5)	8(5)	7(5)	8(5)
履修者総数		428	465	347	318	339	354	353	396	456

※1 2000年開講

※2 カッコ内の数字は職員が担当した回。ただし、教員とともに担当した回は除く。

※3 複数のキャンパスを担当した場合はそれぞれに計上。カッコ内の数字は職員。

(2) ゼミツアー *フリーツアー（すべての利用資格者対象）含む

		2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
中央図書館	回数	102	89	81	59	62	62	56	61	59
	履修者数	1,137	1,035	905	689	851	714	617	620	719
和泉図書館	回数	181	178	153	139	263	195	170	169	150
	履修者数	3,055	2,850	2,738	2,221	3,278	2,864	2,741	2,999	2,902
生田図書館	回数	25	33	31	28	38	25	21	18	13
	履修者数	267	237	202	163	184	167	218	211	132
中野図書館	回数						28	21	20	28
	履修者数						396	255	265	361

(3) 出前講義 *「図書館活用法」を除く教室授業，図書館以外施設授業など

		2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
中央図書館	回数	ゼミツアーに含む								
	履修者数									
和泉図書館	回数	3	3	0	0	0	0	0	0	0
	履修者数	105	65	0	0	0	0	0	0	0
生田図書館	回数	14	10	12	8	8	8	8	10	18
	履修者数	262	380	443	294	300	286	286	422	384
中野図書館	回数						3	2	2	3
	履修者数						22	30	40	50

(4) 各種講習会 * 情報・文献検索講習会, DB 講習会, テーマ別講習会, グループガイダンスなど

		2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
中央図書館	回数	26	22	28	26	19	19	20	18	20
	参加者数	148	264	269	296	221	196	222	190	107
和泉図書館	回数	0	10	35	45	59	51	40	22	19
	参加者数	0	114	486	283	397	260	384	291	147
生田図書館	回数	9	11	13	17	22	10	23	8	1
	参加者数	478	158	118	137	71	200	197	121	7
中野図書館	回数						17	23	10	4
	参加者数						80	68	84	11

(5) オリエンテーション * 新入生, 新任教員, 三年次, 留学生など

		2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
中央図書館	回数	8	8	9	6	8	8	13	12	10
	参加者数	1,548	1,548	1,501	1,076	1,404	1,132	970	893	1,148
和泉図書館	回数	11	14	13	15	12	8	8	7	11
	参加者数	5,723	5,725	5,864	5,486	5,232	4,987	5,196	5,677	5,093
生田図書館	回数	9	6	4	4	4	4	4	6	4
	参加者数	820	1,658	1,585	1,683	1,640	1,632	1,698	1,595	1,612
中野図書館	回数						6	5	5	7
	参加者数						890	627	665	784

(6) 見学・視察 * 各種団体, 個人, 学校など

		2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
中央図書館	回数 ※ 1	136	121	148	129	140	134	100	95	88
	参加者数	2,596	3,136	3,752	3,470	3,785	4,088	3,229	3,108	3,027
和泉図書館	回数 ※ 1	63	20	7	13	118		140	88	54
	参加者数	450	815	162 (303) ※ 2	491	3,502	2,099	3,791	2,134	2,829
生田図書館	回数 ※ 1	13	4	1	0	1		0	3	2
	参加者数	633	706	591	312	532	232	285	2,972	453
中野図書館	回数 ※ 1						43	31	13	3
	参加者数						2,083	1,638	3,089	2,625

※ 1 個人での見学は含まない

※ 2 カッコ内の数字は建物外からの概要説明のみ

8.2 学部間共通総合講座「図書館活用法」

《春学期》
駿河台キャンパス

図書館活用法			コーディネーター
			経営学部 森 久
駿河台キャンパス	2単位	半期(春学期)	木曜日 2 時限
1 授業の概要・到達目標			
1. 図書館の蔵書、施設、サービスを理解し、また図書や読書の意義を理解することにより、図書館を積極的かつ目的に応じて適切に利用できるようになります。(図書館リテラシー)			
2. さまざまな情報、文獻、資料の種類や特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになります。(情報リテラシー)			
3. 入手した情報、文獻、資料を適切に利用し、レポート、論文やプレゼンテーション資料などを作成できるようになります。(学習リテラシー)			
4. 受講活動に役立つ企業情報を入手できるようになります。			
2 日程・テーマ・担当書			
①	4月14日	イントロダクション(講座の概要、成績評価方法等の説明)	経営学部専任教授 森 久 図書館職員 伊藤 秀明
②	4月21日	レポート・論文の書き方	経営学部専任教授 森 久
③	4月28日	図書館と著作権	図書館職員 平田 さくら
④	5月12日	書物のゆしみ	経営学部専任教授 宇野 毅
⑤	5月19日	文獻・情報の探し方(1)概論	図書館職員 小野 聡
⑥	5月26日	文獻・情報の探し方(2)図書	【演習】 図書館職員 小倉 素子・飯塚 貴子
⑦	6月 2日	文獻・情報の探し方(3)雑誌論文①	【演習】 図書館職員 平田 さくら・桑原 理恵
⑧	6月 9日	文獻・情報の探し方(4)雑誌論文②	【演習】 図書館職員 平田 さくら・桑原 理恵
⑨	6月16日	文獻・情報の探し方(5)レファレンス資料	【演習】 図書館職員 小倉 素子・久松 薫子
⑩	6月23日	文獻・情報の探し方(6)専門情報・新聞	【演習】 図書館職員 小倉 素子・久松 薫子
⑪	6月30日	文獻・情報の探し方(7)インターネット	【演習】 図書館職員 角 祐二郎 メディア支援職員 夏 直之
⑫	7月 7日	検索技術の向上	【演習】 図書館職員 小野 聡・梅田 順一
⑬	7月14日	文獻・情報の探し方(8)まとめ	【演習】 図書館職員 平田 さくら・西脇 亜由子
⑭	7月21日	総括:総合演習	【演習】 経営学部専任教授 森 久 図書館職員 平田 さくら・西脇 亜由子
3 履修上の注意点・準備学習の内容			
教員と専門の図書館職員が分担して授業を行います。講義と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお演習授業は、情報基盤本部が実施するMIND利用講習会を事前に受けていないと受講できませんので、注意してください。			
4 教科書			
教材として印刷資料を配布します。			
5 参考書			
大野友和編『大学図書館がゼロからわかる本：学生のための図書館活用法』(2005、日本図書館協会、ISBN9784820405009)			
小笠原康雄著『大学生のためのレポート・論文術』(2009、講談社、ISBN9784062880213)			
直井聡樹著『これからレポート・卒論を書く者のために』(2007、北文出版、ISBN9784320005747)			
高岡松樹著『デジタル情報資源の検索』(増訂第4版(2012、日本図書館協会、ISBN9784820412144)			
松本穂久著『情報検索入門ハンドブック：データベース、Web、図書館の利用法』(2008、勉誠出版、ISBN9784585071242)			
6 成績評価の方法			
①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。			
7 その他			
①～⑭の演習授業は、履修者を2クラスに分け、12号館の教室で行います。			

和泉キャンパス

図書館活用法			コーディネーター	
			法学部 鈴木 哲也	
和泉キャンパス	2単位	半期(春学期)	火曜日 3 時限	
1 授業の概要・到達目標				
① 図書館の蔵書、施設、サービスを理解し、また、図書や読書の意義を理解することにより、図書館を積極的かつ目的に応じて適切に利用できるようになります。(図書館リテラシー)				
② 様々な学術情報、文獻、資料の種類や特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになります。(情報リテラシー)				
③ 入手した情報、文獻、資料を適切に利用し、レポート、論文作成やプレゼンテーションの発表資料などの作成が行えるようになります。(学習リテラシー)				
2 日程・テーマ・担当書				
①	4月12日	イントロダクション(講座の概要、成績評価方法等の説明)	法学部専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 折戸 晶子	
②	4月19日	文獻・情報の探し方(1)概論	図書館職員 関口 剛枝	
③	4月26日	レポート・論文の書き方	法学部専任准教授 鈴木 哲也	
④	5月10日	図書館と著作権	図書館職員 杉谷 美和	
⑤	5月17日	書物のゆしみ	法学部専任教授 田島 正行	
⑥	5月24日	文獻・情報の探し方(2)図書①	【演習】	図書館職員 辻 薫・小倉 さなえ
⑦	5月31日	文獻・情報の探し方(3)図書②	【演習】	図書館職員 辻 薫・小倉 さなえ
⑧	6月 7日	文獻・情報の探し方(4)雑誌論文①	【演習】	図書館職員 杉谷 美和・曾野 正士
⑨	6月14日	文獻・情報の探し方(5)雑誌論文②	【演習】	図書館職員 杉谷 美和・曾野 正士
⑩	6月21日	文獻・情報の探し方(6)レファレンス資料	【演習】	図書館職員 齋木 信一・畑野 蘭子
⑪	6月28日	文獻・情報の探し方(7)新聞	【演習】	図書館職員 小野 聡・畑野 蘭子
⑫	7月 5日	文獻・情報の探し方(8)インターネット	【演習】	中野教育研究支援職員 原口 尚大 メディア支援職員 井上 拓亮
⑬	7月12日	文獻・情報の探し方(9)まとめ	【演習】	図書館職員 折戸 晶子・関口 剛枝
⑭	7月19日	総括・総合演習	【演習】	法学部専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 折戸 晶子・齋木 信一
3 履修上の注意点・準備学習の内容				
教員と専門の図書館職員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基盤本部が実施するMIND利用講習会を事前に受けていないと受講できませんので、注意してください。				
4 教科書				
教材として印刷資料を配布する。				
5 参考書				
大野友和編『大学図書館がゼロからわかる本：学生のための図書館活用法』(2005、日本図書館協会、ISBN9784820405009) 小笠原康雄著『大学生のためのレポート・論文術』(2009、講談社、ISBN9784062880213) 佐藤昌雄著『アカデミックスキルズ：大学生のための情報技術入門』第2版(2012、慶應義塾大学出版会、ISBN9784766419603) 直井聡樹著『これからレポート・卒論を書く者のために』(2007、北文出版、ISBN9784320005747) 高岡松樹著『デジタル情報資源の検索』(増訂第4版(2012、日本図書館協会、ISBN9784820412144) 松本穂久著『情報検索入門ハンドブック：データベース、Web、図書館の利用法』(2008、勉誠出版、ISBN9784585071242)				
6 成績評価の方法				
①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。				
7 その他				

図書館活用法			コーディネーター
			法学部 鈴木 哲也
和泉キャンパス	2単位	半期(春学期)	火曜日 5 時限
1 授業の概要・到達目標 1. 図書館の蔵書、施設、サービスを理解し、また、図書や読書の意義を理解することにより、図書館を積極的かつ目的に応じて適切に利用できるようになります。(図書館リテラシー) 2. 様々な学術情報、文獻、資料の種類や特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになります。(情報リテラシー) 3. 入手した情報、文獻、資料を適切に利用し、レポート、論文作成やプレゼンテーションの発表資料などの作成が行えるようになります。(学習リテラシー)			
2 日程・テーマ・担当書			
①	4月12日	イントロダクション(講座の概要、成績評価方法等の説明)	法学部専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 折戸 晶子
②	4月19日	文獻・情報の探し方(1)概論	図書館職員 柴尾 晋
③	4月26日	レポート・論文の書き方	法学部専任准教授 鈴木 哲也
④	5月10日	図書館と著作権	図書館職員 梅田 順一
⑤	5月17日	書物のゆしみ	法学部専任教授 田島 正行
⑥	5月24日	文獻・情報の探し方(2)図書①	【演習】 図書館職員 松並 康子・浅野 京子
⑦	5月31日	文獻・情報の探し方(3)図書②	【演習】 図書館職員 松並 康子・浅野 京子
⑧	6月 7日	文獻・情報の探し方(4)雑誌論文①	【演習】 図書館職員 吉田 千草・飯塚 貴子
⑨	6月14日	文獻・情報の探し方(5)雑誌論文②	【演習】 図書館職員 吉田 千草・飯塚 貴子
⑩	6月21日	文獻・情報の探し方(6)レファレンス資料	【演習】 図書館職員 豊満 朝子・飯塚 貴子
⑪	6月28日	文獻・情報の探し方(7)新聞	【演習】 図書館職員 梅田 賢一・西脇亜由子
⑫	7月 5日	文獻・情報の探し方(8)インターネット	【演習】 図書館職員 梅田 賢一・角 祐二郎
⑬	7月12日	文獻・情報の探し方(9)まとめ	【演習】 図書館職員 豊満 朝子・齋木 信一
⑭	7月19日	総括:総合演習	【演習】 法学部専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 折戸 晶子・齋木 信一
3 履修上の注意点・準備学習の内容 教員と専門の図書館職員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基盤本部が実施するMIND利用講習会を事前に受けていないと受講できませんので、注意してください。			
4 教科書 教材として印刷資料を配布する。			
5 参考書 大野友和編『大学図書館がゼロからわかる本：学生のための図書館活用法』(2005、日本図書館協会、ISBN9784820405009) 小笠原康雄著『大学生のためのレポート・論文術』(2009、講談社、ISBN9784062880213) 佐藤昌雄著『アカデミックスキルズ：大学生のための情報技術入門』第2版(2012、慶應義塾大学出版会、ISBN9784766419603) 直井聡樹著『これからレポート・卒論を書く者のために』(2007、北文出版、ISBN9784320005747) 高岡松樹著『デジタル情報資源の検索』(増訂第4版(2012、日本図書館協会、ISBN9784820412144) 松本穂久著『情報検索入門ハンドブック：データベース、Web、図書館の利用法』(2008、勉誠出版、ISBN9784585071242)			
6 成績評価の方法 ①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。			
7 その他			

《秋学期》
和泉キャンパス

図書館活用法		コーディネーター	
		法学部 鈴木 哲也	
和泉キャンパス	2単位 半期(秋学期)	火曜日 3 時限	
1 授業の概要・到達目標 1. 図書館の概要、施設、サービスを理解し、また、図書や読書の意義を理解することにより、図書館を積極的にかつ目的に応じて適切に利用できるようにします。(図書館リテラシー) 2. 様々な学術情報、文献、資料の種類や特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになります。(情報リテラシー) 3. 入手した情報、文献、資料を適切に利用し、レポート、論文作成やプレゼンテーションの発表資料などの作成が行えるようになります。(学習リテラシー)			
2 日程・テーマ・担当書			
①	9月20日 講座の概要、成績評価方法等の説明:大学図書館への招待	法学部専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 折戸 晶子	
②	9月27日 文献・情報の探し方(1)概論	図書館職員 久松 薫子	
③	10月 4日 レポート・論文の書き方	法学部専任准教授 鈴木 哲也	
④	10月11日 図書館と著作権	図書館職員 杉谷 美和	
⑤	10月18日 書物の愉しみ	法学部専任教授 田島 正行	
⑥	10月25日 文献・情報の探し方(2)図書①	【演習】 図書館職員 松並 康子・吉田 千草	
⑦	11月 8日 文献・情報の探し方(3)図書②	【演習】 図書館職員 松並 康子・吉田 千草	
⑧	11月15日 文献・情報の探し方(4)雑誌論文①	【演習】 図書館職員 関口 剛枝・曾野 正士	
⑨	11月22日 文献・情報の探し方(5)雑誌論文②	【演習】 図書館職員 関口 剛枝・曾野 正士	
⑩	11月29日 文献・情報の探し方(6)レファレンス資料	【演習】 図書館職員 吉田 千草・小倉 素子	
⑪	12月 6日 文献・情報の探し方(7)新聞	【演習】 図書館職員 柴尾 晋・小野 聡	
⑫	12月13日 文献・情報の探し方(8)インターネット	【演習】 図書館職員 角 祐二郎 メディア支援職員 井上 拓弥	
⑬	12月20日 レポートの書き方	【演習】 図書館職員 吉田 千草・久松 薫子	
⑭	1月10日 文献・情報の探し方(9)まとめ	和泉図書館事務長 折戸 晶子 図書館職員 関口 剛枝	
⑮	1月17日 総括:総合演習	【演習】 法学部専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 関口 剛枝・斎木 信一	
3 履修上の注意点・準備学習の内容 教員と専門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基盤本部が実施するGMD利用講習会を事前を受けていないと受講できません。			
4 教科書 教材は印刷資料を配布する。			
5 参考書 大野友和編「大学図書館がゼロからわかる本：学生のための図書館活用法」(2005、日本図書館協会、ISBN9784820405009) 小笠原真樹「大学生のためのレポート・論文術」(2009、講談社、ISBN9784082802113) 佐藤望隆著「アカデミックスキルズ：大学生のための知的技法入門」(第2版(2012、慶應義塾大学出版会、ISBN9784766419603) 西井忠樹著「これからのレポート・卒論を書く者のために」(2007、共立出版、ISBN9784320005747) 高橋松樹著「デジタル情報資源の検索」(第4版(2012、日本図書館協会、ISBN9784820412144) 松本勝久著「情報検索入門ハンドブック：データベース、Web、図書館の利用法」(2008、勉誠出版、ISBN9784585071242)			
6 成績評価の方法 ①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。			
7 その他			

生田キャンパス

図書館活用法		コーディネーター	
		農学部 小倉 信夫	
生田キャンパス	2単位 半期(秋学期)	金曜日 5 時限	
1 授業の概要・到達目標 1. 図書館の概要、施設、サービスを理解し、また、図書や読書の意義を理解することにより、図書館を積極的にかつ目的に応じて適切に利用できるようにします。(図書館リテラシー) 2. 様々な学術情報、文献、資料の種類や特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになります。(情報リテラシー) 3. 入手した情報、文献、資料を適切に利用し、レポート、論文作成やプレゼンテーションの発表資料などの作成が行えるようになります。(学習リテラシー)			
2 日程・テーマ・担当書			
①	9月23日 イントロダクション(講座の概要、成績評価方法等の説明) 大学図書館への招待	農学部専任教授 小倉 信夫 図書館職員 東盛 達也	
②	9月30日 読書の愉しみ～読書のきっかけ～企業小説へのいざない	農学部教授 本所 靖博	
③	10月 7日 文献・情報の探し方(1)概論	図書館職員 小林 純一	
④	10月14日 レポート・論文の書き方 ～分かつつづらつて分かっていないポイントをつかもう！	農学部専任講師 大里 修一	
⑤	10月21日 図書館と著作権 ～きちんと論文レポートを書くために	情報コミュニケーション学部専任准教授 今村 哲也	
⑥	11月 4日 文献・情報の探し方(2)図書 ～図書館の達人への第一歩！	【演習】 図書館職員 辻 薫	
⑦	11月11日 文献・情報の探し方(3)雑誌論文① ～雑誌？論文？違いが分かれればサクサク検索	【演習】 図書館職員 宮澤 順子	
⑧	11月25日 文献・情報の探し方(4)雑誌論文② ～雑誌？論文？違いが分かれればサクサク検索	【演習】 図書館職員 宮澤 順子	
⑨	12月 2日 文献・情報の探し方(5)レファレンス資料 ～調べものにつながるいろんな情報	【演習】 中野教育研究支援職員 原口 尚大	
⑩	12月 9日 文献・情報の探し方(6)専門情報・新聞	【演習】 図書館職員 小林 純一	
⑪	12月16日 文献・情報の探し方(7)インターネット	【演習】 図書館職員 角 祐二郎	
⑫	12月19日 検索技術の向上	【演習】 中野教育研究支援職員 原口 尚大	
⑬	1月13日 文献・情報の探し方(8)まとめ	【演習】 図書館職員 宮澤 順子	
⑭	1月20日 総括:総合演習	【演習】 農学部専任教授 小倉 信夫 図書館職員 宮澤 順子	
3 履修上の注意点・準備学習の内容 教員と専門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基盤本部が実施するGMD利用講習会を事前を受けていないと受講できません。			
4 教科書 教材は印刷資料を配布する。			
5 参考書 大野友和編「大学図書館がゼロからわかる本：学生のための図書館活用法」(2005、日本図書館協会、ISBN9784820405009) 小笠原真樹「大学生のためのレポート・論文術」(2009、講談社、ISBN9784082802113) 佐藤望隆著「アカデミックスキルズ：大学生のための知的技法入門」(第2版(2012、慶應義塾大学出版会、ISBN9784766419603) 西井忠樹著「これからのレポート・卒論を書く者のために」(2007、共立出版、ISBN9784320005747) 高橋松樹著「デジタル情報資源の検索」(第4版(2012、日本図書館協会、ISBN9784820412144) 松本勝久著「情報検索入門ハンドブック：データベース、Web、図書館の利用法」(2008、勉誠出版、ISBN9784585071242)			
6 成績評価の方法 ①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。			
7 その他			

図書館活用法		コーディネーター	
		法学部 鈴木 哲也	
和泉キャンパス	2単位 半期(秋学期)	火曜日 5 時限	
1 授業の概要・到達目標 1. 図書館の概要、施設、サービスを理解し、また、図書や読書の意義を理解することにより、図書館を積極的にかつ目的に応じて適切に利用できるようにします。(図書館リテラシー) 2. 様々な学術情報、文献、資料の種類や特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになります。(情報リテラシー) 3. 入手した情報、文献、資料を適切に利用し、レポート、論文作成やプレゼンテーションの発表資料などの作成が行えるようになります。(学習リテラシー)			
2 日程・テーマ・担当書			
①	9月20日 講座の概要、成績評価方法等の説明:大学図書館への招待	法学部専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 折戸 晶子	
②	9月27日 文献・情報の探し方(1)概論	図書館職員 窪田 賢一	
③	10月 4日 レポート・論文の書き方	法学部専任准教授 鈴木 哲也	
④	10月11日 図書館と著作権	財務課職員 梅田 順一	
⑤	10月18日 書物の愉しみ	法学部専任教授 田島 正行	
⑥	10月25日 文献・情報の探し方(2)図書①	【演習】 図書館職員 辻 薫・小倉さなえ	
⑦	11月 8日 文献・情報の探し方(3)図書②	【演習】 図書館職員 辻 薫・小倉さなえ	
⑧	11月15日 文献・情報の探し方(4)雑誌論文①	【演習】 図書館職員 小林 純一・桑原 理恵	
⑨	11月22日 文献・情報の探し方(5)雑誌論文②	【演習】 図書館職員 小林 純一・桑原 理恵	
⑩	11月29日 文献・情報の探し方(6)レファレンス資料	【演習】 図書館職員 豊満 朝子・畑野 麻子	
⑪	12月 6日 文献・情報の探し方(7)新聞	【演習】 図書館職員 斎木 信一・窪田 賢一	
⑫	12月13日 文献・情報の探し方(8)インターネット	【演習】 図書館職員 窪田 賢一 中野教育研究支援職員 原口 尚大	
⑬	12月20日 レポートの書き方	【演習】 図書館職員 窪田 賢一・西脇亜由子	
⑭	1月10日 文献・情報の探し方(9)まとめ	【演習】 図書館職員 豊満 朝子・斎木 信一	
⑮	1月17日 総括:総合演習	【演習】 法学部専任准教授 鈴木 哲也 図書館職員 折戸 晶子・豊満 朝子	
3 履修上の注意点・準備学習の内容 教員と専門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基盤本部が実施するGMD利用講習会を事前を受けていないと受講できません。			
4 教科書 教材は印刷資料を配布する。			
5 参考書 大野友和編「大学図書館がゼロからわかる本：学生のための図書館活用法」(2005、日本図書館協会、ISBN9784820405009) 小笠原真樹「大学生のためのレポート・論文術」(2009、講談社、ISBN9784082802113) 佐藤望隆著「アカデミックスキルズ：大学生のための知的技法入門」(第2版(2012、慶應義塾大学出版会、ISBN9784766419603) 西井忠樹著「これからのレポート・卒論を書く者のために」(2007、共立出版、ISBN9784320005747) 高橋松樹著「デジタル情報資源の検索」(第4版(2012、日本図書館協会、ISBN9784820412144) 松本勝久著「情報検索入門ハンドブック：データベース、Web、図書館の利用法」(2008、勉誠出版、ISBN9784585071242)			
6 成績評価の方法 ①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。			
7 その他			

中野キャンパス

図書館活用法		コーディネーター	
		国際日本学部 奥達 仁	
中野キャンパス	2単位 半期(秋学期)	水曜日 3 時限	
1 授業の概要・到達目標 1. 図書館の概要、施設、サービスを理解し、また、図書や読書の意義を理解することにより、図書館を積極的にかつ目的に応じて適切に利用できるようにします。(図書館リテラシー) 2. 様々な学術情報、文献、資料の種類や特徴を理解し、目的に応じて適切な方法で検索、入手、利用できるようになります。(情報リテラシー) 3. 入手した情報、文献、資料を適切に利用し、レポート、論文作成やプレゼンテーションの発表資料などの作成が行えるようになります。(学習リテラシー)			
2 日程・テーマ・担当書			
①	9月21日 講座の概要、成績評価方法等の説明:大学図書館への招待	国際日本学部専任教授 奥達 仁 図書館職員 久保木 和義	
②	9月28日 文献・情報の探し方(1)概論	図書館職員 久保木 和義	
③	10月 5日 レポート・論文の書き方	国際日本学部専任教授 奥達 仁	
④	10月12日 図書館と著作権	財務課職員 梅田 順一	
⑤	10月19日 図書館の歴史	総合教理学部専任教授 砂田 利一	
⑥	10月26日 書物の愉しみ	国際日本学部専任教授 渡 浩一	
⑦	11月 2日 文献・情報の探し方(2)図書①	【演習】 学術・社会連携部長 菊池 亮一	
⑧	11月 9日 文献・情報の探し方(3)図書②	【演習】 学術・社会連携部長 菊池 亮一	
⑨	11月16日 文献・情報の探し方(4)雑誌論文①	【演習】 図書館職員 柴尾 晋	
⑩	11月23日 文献・情報の探し方(5)雑誌論文②	【演習】 図書館職員 柴尾 晋	
⑪	11月30日 文献・情報の探し方(6)レファレンス資料	【演習】 図書館職員 畑野 麻子	
⑫	12月 7日 文献・情報の探し方(7)新聞	【演習】 図書館職員 久保木 和義	
⑬	12月14日 文献・情報の探し方(8)インターネット	【演習】 図書館職員 久保木 和義	
⑭	12月21日 文献・情報の探し方(9)まとめ	【演習】 図書館職員 久保木 和義	
⑮	1月11日 総括:総合演習	【演習】 国際日本学部専任教授 奥達 仁 図書館職員 久保木 和義	
3 履修上の注意点・準備学習の内容 教員と専門の図書館員が、それぞれのテーマを分担します。講義(概論)と演習を有機的に組み合わせ、演習では実際にパソコンを操作してデータベース検索等を行います。なお、演習授業は、情報基盤本部が実施するGMD利用講習会を事前を受けていないと受講できません。			
4 教科書 教材は印刷資料を配布する。			
5 参考書 大野友和編「大学図書館がゼロからわかる本：学生のための図書館活用法」(2005、日本図書館協会、ISBN9784820405009) 小笠原真樹「大学生のためのレポート・論文術」(2009、講談社、ISBN9784082802113) 佐藤望隆著「アカデミックスキルズ：大学生のための知的技法入門」(第2版(2012、慶應義塾大学出版会、ISBN9784766419603) 西井忠樹著「これからのレポート・卒論を書く者のために」(2007、共立出版、ISBN9784320005747) 高橋松樹著「デジタル情報資源の検索」(第4版(2012、日本図書館協会、ISBN9784820412144) 松本勝久著「情報検索入門ハンドブック：データベース、Web、図書館の利用法」(2008、勉誠出版、ISBN9784585071242)			
6 成績評価の方法 ①平常点(50%)、②総合テスト(25%)、③期末レポート(25%)を総合的に判断する予定です。			
7 その他			